

修善の森プロジェクト トンボビオトープ2023年度整備予定

山林入り口 車道、用具小屋、竹林間伐



山林入り口に車道を整備する。資材等の車輛搬入動線、救急搬送時に備えた駐車スペース等として利用する。脇の水路の水の流れを円滑にするため、水脈溝を掘り直してから土留造作を行う。車道は、車輛通行により土壌を傷めぬように、グリ石・砕石・炭・木竹等の有機物を用いて、通気・透水処理を施した下地造作ののち、平坦に整地する。道を設けることが環境改善となる施工法を取る。

ビオトープと山林入り口に隣接する竹林は、間伐し、粉碎機により粉碎チップに加工して、車道の造作資材として利用する。

車道奥に、用具小屋を設ける。スコップや長靴等、イベントや整備に用いる道具や資材を収納する。小屋は石場建てとし、土壌に負荷をかけない造作とする。

これらの整備に用いる資材（丸太、材木、基礎石、屋根材など）は、里山の現地材と、山林所有者の方に提供していただく材料を積極的に用いる。